



『2学期を終えて』

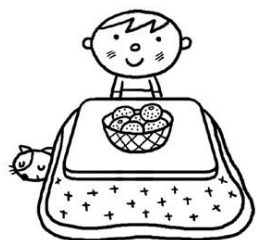
校長 池田 宏

今日、無事に2学期を終えることができました。お子さんたちはどんな顔で帰宅したでしょうか。冬休みは、夏休みと違い、クリスマス、お正月と明確に行事が位置づいています。自然と心躍る長期のお休みとなります。しかし、今年はコロナ渦で外出も控えることと思います。「ゆっくり」はできないかもしれませんが、ぜひご家庭でお子さんの通知表を参考に4月からの成長をご確認いただければと思います。



昔、妻が熱を出して代わりに息子の保護者会に参加したことがあります。父親は私だけで周りはずべてお母さんという状況で、「さばればよかった。」と欲していたところに、担任の先生から「この1年でお子さんが家庭の中でどんな風が変わったか一人ずつ教えてください。」とお母さん方はいろいろとお話しされていましたが、私の答えは考えるまでもなく「分かりません」。気に留めていなかったのです。

人は気に留めることなく、自然にできるようになることが沢山あります。「おぎゃ〜」と産まれた時から自然と呼吸をしています。母乳を飲むから始まり、自然に食べることを楽しめるようになります。余談ですが、赤ちゃんはず〜とお母さんのおっぱいを飲み続けています。これは、おっぱいを飲みながら同時に呼吸ができるからです。私たちが何か飲みながら同時に呼吸をしたら必ず咽ます。さて、子どもが生活していく中で自然にできるようになることは、私たちは「当たり前」と思っています。ですから、「どうやって歩けるようになったの?」と聞かれても、明確に答えられる方は少ないと思います。大方が「自然に!?!」。気に留めていないので、もしできなかった時どうすればいいか分からないのが普通です。初めての環境が苦手、文章を理解するのが苦手、周りのことが気になり落ち着きがない、他人とのコミュニケーションが苦手、……、久喜特別支援学校には様々な子どもたちがいます。もちろん、苦手なことばかりでなく、たくさんの得意なことも持っています。ただ、似た課題でも児童生徒一人一人、分かりやすさ、取り組みやすさは違います。これは、障害を有する子どもたちが学ぶ特別支援学校に限ったことではありませんが、特別支援学校はクラスが少人数であることから、一人一人により深く対応することができていると思います。そして、一人一人への支援の方法は、1学期に保護者の皆様と相談させていただき作成した支援プランに具体的に記載してあり、通知表は支援プランに基づいて子どもたちの学校での成長を記載したものです。繰り返しますが、お子さんの学校での頑張りを、ぜひご確認ください。



さて、3学期は例年より1日早い1月7日(木)から始まります。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言で、休校となり授業ができなかった分を少しでも補うためです。初詣等の分散のため、政府は1月10日までの休みを推奨していたので、ご家族の中には10日までお休みの方もいるかもしれませんが、子どもたちは7日からです。そして、私は学期が終わるたびに、休み明けみんな元気に登校してくる姿を思い浮かべます。今年も1月7日、子どもたちが元気にバスから降りてくるのを楽しみにしています。今年の冬休み、いつも以上に感染予防に気を遣うことと思いますが、それぞれのご家庭で温かな年末年始を過ごせるよう祈念いたします。

3学期も久喜特別支援学校教職員一同、元気に頑張ります。

《お知らせ》

☆高等部からのお願いです。高等部では作業学習と委員会活動でアルミ缶潰し作業を行っています。作業も順調でアルミ缶が不足しています。ご家庭で出たアルミ缶の回収をお願いしたいと思います。洗って干して頂いたものをお持ちいただくようお願いいたします。回収場所は事務室の階段下のBOXになります。

☆12月9日(水)から、小学部1年1組に竹内先生に代わり、田中あかね先生が入っています。小学部はもちろんですが、中学部、高等部の保護者の方もよろしくお願ひします。